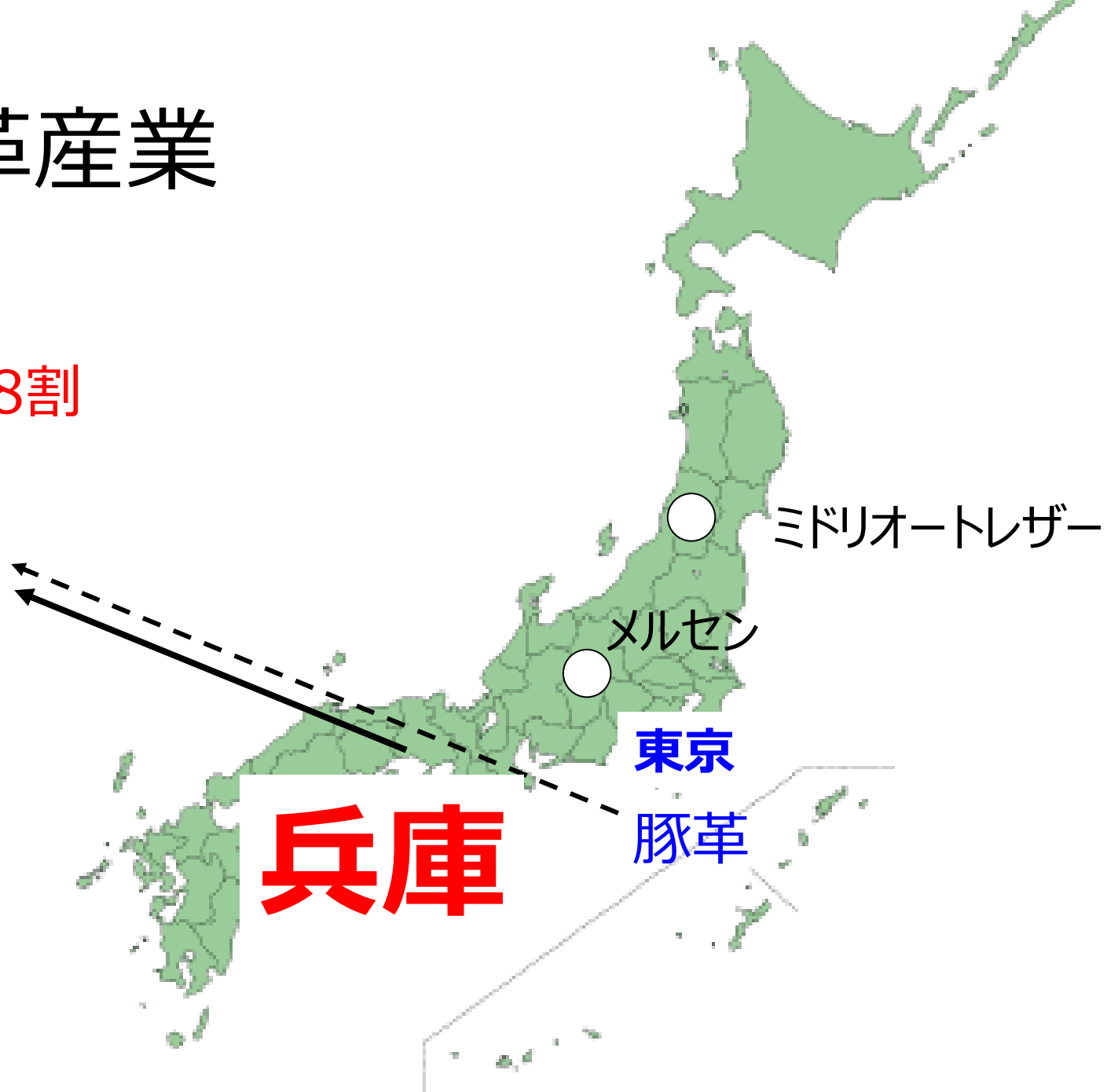
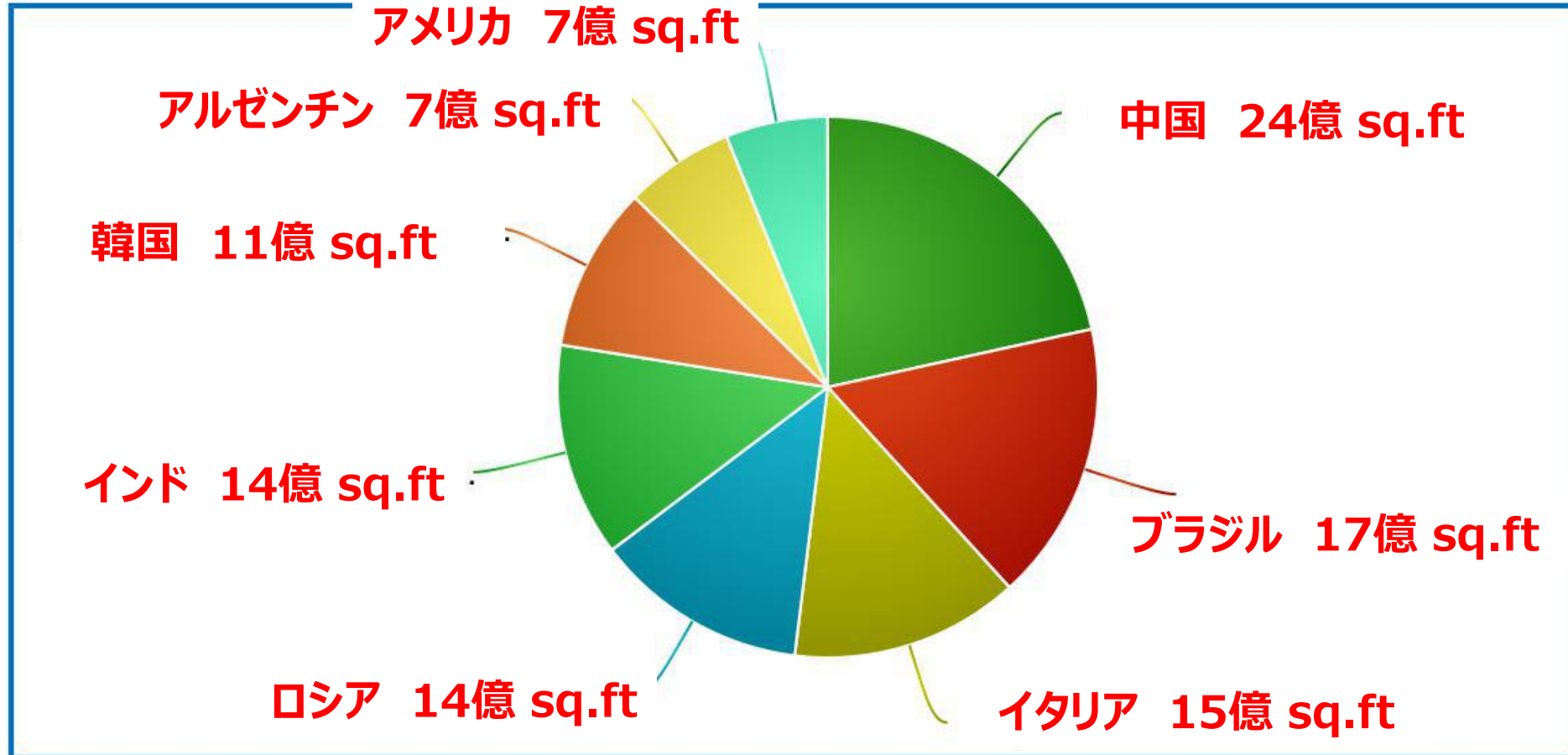


# 日本の皮革産業

日本生産の約8割  
牛革  
馬革



# 世界の皮革生産量 (2018年)



China Brazil Italy Russia India South Korea Argentina  
USA

日本 0.5億 sq.ft (2020年)

## 日欧EPA発効後の関税の変化

	品目	発効前	発効後
衣料品 (43、61～63類)	毛皮のコート	20%	漸次減少し、 2034年に撤廃
	繊維のコート、 ジャケット、 ボトムス、スカート	8.4～12.8%	即時撤廃
	シャツ、肌着	7.4～10.9%	
	ネクタイ	8.4～13.4%	
バッグ(42類)	革製ハンドバッグ	8～16%	漸次減少し、 2029年に撤廃
履物(64類)	革靴	21.6～30%	漸次減少し、2029 年か2034年に撤 廃 もしくは割当制度 の实质廃止



正面



実験室



実験室



セミナー室



皮革製造作業棟



廊下

# 皮革工業技術支援センターのスタッフ（R6年度）

所 長  
技術課長  
主席研究員  
上席研究員  
上席研究員  
研究員

柴原  
鷺家  
杉本  
山岸  
松本  
泉

主 査  
非常勤嘱託員(皮革技術指導員)  
県政推進事務嘱託員

藤川 (庶務、経理)  
佐藤 (皮革製造、実験工場)  
尾崎 (庶務補佐)

計 9 名

# 皮革工業技術支援センターの主な業務

## ○依頼試験・加工・設備利用

皮革の分析試験をはじめ設備利用等の依頼に応じている。

・依頼試験	R2 (425項数)	R3 (596項数)	R4 (632項数)
・設備利用	R2 (171項数)	R3 (231項数)	R4 (521項数)

### 利用可能な機器

ドラム(試験用、小型、中型)、工業用ミシン、万能型引張試験機、すき割り機、小型走査型電子顕微鏡、屈曲試験機、バイブレーションステッキングマシン、示量走査熱量計、ウエザオメータ、バタ振り機、原子吸光分光分析装置、皮革熱収縮温度測定機、ロールコーター、可視紫外分光光度計、染色堅ろう度試験機、ロールアイロン、高速液体クロマトグラフ、テーパ形摩擦試験機、皮革用レーザー加工機、電子捕獲検出器付ガスクロマトグラフ分析装置、ガスクロマトグラフタンデム質量分析装置、フーリエ変換赤外分光光度計、示差熱分析装置



ガスクロマトグラフタンデム質量分析装置



レーザー加工機



高速液体クロマトグラフ



小型走査電子顕微鏡

# ○技術者養成

## 「兵庫県皮革大学校 開設事業」

皮革関連企業の技術者の養成を目的とした製革技術の研修を行っている。  
(R6年度)

①皮革製造基礎部門	9日間	(参加者 22名、修了 16名)
②皮革製造技術部門	8日間	(参加者 6名、修了 6名)
③革製品製造技術バッグ部門	3日間	(参加者 4名、修了 4名)
〃	靴部門	4日間 (募集 4名)
〃	マシン部門	2日間 (参加者 5名、修了 5名)
〃	小物部門	2日間 (募集 5名)
合計	44日間	(参加者 71名、修了 65名)

## ○研究業務

- ・ピクルル不要でクロム使用量を削減できる鞣し法の開発
- ・ピクルル不要で厚鞣しできる鞣し法の開発
- ・欧州のビスフェノール規制に対応した革の開発
- ・フェイクレザーを見分ける判別法の検討
- ・皮革や食品製品のニオイ濃縮液の製法の検討
- ・液体ゴムを利用した革への柔軟性付与
- ・皮革の高品質化に関する研究